

03 阿蘇地域内の取組、他団体との連携

(1) 協会事業(熊本県、阿蘇管内市町村による負担金を活用した取組)

農林部会

〔部会概要〕

農林業の生産振興と草原の利用拡大に取り組む。
部会を担うのは阿蘇農業協同組合。

〔主な取組実績〕

野草堆肥利用促進システムの構築や阿蘇世界農業遺産のロゴマークを活用した商品販売のほか、阿蘇地域内外での物産フェア、販促イベントを開催した。



阿蘇コシヒカリ



世界農業遺産フェアin阿蘇市

自然・環境部会

〔部会概要〕

自然環境・生物多様性・文化の維持保全に取り組む。
部会を担うのは東海大学。

〔主な取組実績〕

地域住民や市町村の意見をもとに、保全・継承が危ぶまれる阿蘇の地域資源として99個の「伝えたい阿蘇の農業遺産資源」を設定している。これら資源の保全・継承・活用に取り組む活動に対して、令和4年度までに、計48件助成した。



資源選定の現地審査



みさを大豆収穫体験in高森町

草原景観部会

〔部会概要〕

牧野組合や都市住民による草原管理の維持・充実に取り組む。

部会を担うのは阿蘇グリーンストック。

〔主な取組実績〕

阿蘇の風物詩である草小積みを保全する「草小積み再生プロジェクト」や、全国的に需要の高い阿蘇の茅の生産拡大を目指す「茅刈りプロジェクト」等を実施した。



草小積みin西原村



茅刈りin南阿蘇村

文化交流部会

〔部会概要〕

草原の維持への市民参加の拡大に取り組む。

部会を担うのは阿蘇地域振興デザインセンター。

〔主な取組実績〕

阿蘇世界農業遺産フットパスコースの設定から登山アプリYAMAPへの登録、更にコースを活用したイベント開催やノベルティの作成等を実施した。



フットパス案内in西原村



フットパスイベントin小国町



市町村、地域による活動への支援

助成対象一覧

| 年度 | 実施地域 | 事業名 |
|------|----------------------------------|--|
| H26 | 小国町 | ようこそ「世界農業遺産の地」小国町へ |
| | 高森町 | 世界農業遺産認定1周年記念「カルデラ音楽祭vol2」 |
| | 阿蘇地域 | 世界農業遺産ビジネスプランコンテスト |
| | 南小国町 | 食べるとグリーン あか牛ファンディングプロジェクト「あか牛Fes」 |
| H27 | 阿蘇市 | だご汁フェア |
| | 南小国町 | TOKYO DESIGN WEEK 2015 吉原神楽公演会 |
| | 小国町 | 食べるとグリーン あか牛ファンディングプロジェクト「あか牛フェスティバル」の開催 |
| | 南阿蘇村 | 日本GIAHS民間交流フォーラム・草原モデルツアー推進事業 |
| H28 | 阿蘇市 | 小倉虎舞の公演を通じた世界農業遺産PR |
| | 南小国町 | 「米フェス」、「きよら祭り」での世界農業遺産ブース展開 |
| | 小国町 | 映像で伝える小国杉 |
| H29 | 阿蘇市 | ASO草原フェスティバルの開催 |
| | 南小国町 | 草泊まりを活用した世界農業遺産の発信と新たな観光資源の開発 |
| | 産山村 | あか牛放牧場の整備と農産物販売所の設置 |
| H30 | 阿蘇市 | あか牛を利用した新たな特産物の開発 |
| | 南小国町 | 阿蘇の香り豊かなおもてなし・阿蘇茶&ハーブのブレンドティー開発- |
| | 産山村 | 農産物・加工品販売「うぶやま菜園」事業 |
| R1 | 阿蘇市 | ASO草原フェスティバル2019の実施 |
| | 南小国町 | 原木シイタケの販売促進 |
| | 南阿蘇村 | 世界農業遺産体感スポット開発プロジェクト |
| R2 | 南小国町 | 世界農業遺産を脳で感じる。アナタの知らない「世界農業遺産の世界」開催 |
| R3 | 産山村 | 村内に点在する農業遺産資源を“繋げる”着地型観光の推進と環境整備 |
| | 南小国町 | 吉原神楽の情報発信 |
| | 阿蘇市 | 阿蘇の地元の食材を使用した新商品開発 |
| | 阿蘇市 | 草原維持を目的とした阿蘇地域型綿羊の事業化 |
| | 小国町 | おぐに黒大豆の成分分析、および黒大豆きなこ加工ときなこスイーツの開発 |
| | 産山村 | 産山村産のオーガニック野菜やハーブ、野草を用いた新商品の開発、およびマーケティング&プロモーション活動の展開 |
| | 南阿蘇村 | お味噌汁を温かく保つ「オリジナルサーモマグカップ」を地域住民に格安で先行販売。毎日食べて、廃棄物を生まない朝ごはん、循環型システムづくり |
| | 西原村 | 阿蘇あか牛を活用した販路拡大をおこない、「阿蘇あか牛を全国にPR」する |
| | 西原村 | 西原村産 赤牛カレー |
| | 南小国町 | 小国杉アクセサリ |
| 南小国町 | 源流域の美しい水を守る！マコモダケの町内普及と6次産業への挑戦！ | |

| | | |
|----|------|----------------------------------|
| | 南小国町 | 菅山の味噌作り |
| | 南阿蘇村 | 野焼き再開支援事業 |
| R4 | 南小国町 | 吉原岩戸神楽秋季例大祭の有観客奉納の実施 |
| | 産山村 | 世界農業遺産を見て、伝え、守る“扇棚田展望スペース”設置事業 |
| | 阿蘇市 | 阿蘇中央高等学校がアニマルウェルフェアで飼育した豚肉で新商品開発 |
| | 南阿蘇村 | 地域観光と農業の活性化 |
| | 南小国町 | 南小国産あか牛のブランド化 |
| | 産山村 | うぶあまプロジェクト(農業の6次産業化による産山村の活性化) |
| | 南阿蘇村 | 野焼き再開支援事業 |
| 計 | 41件 | |



吉原神楽in南小国町



甘酒「うぶあま」in産山村

(2) 関係団体との連携

農業遺産認定地域連携会議

農業遺産の価値をさらに高めるための取組みを共同で実施し、相乗効果を発揮することで、農業遺産の認定効果の更なる向上を図ることを目的に、2023年度に発足。国内の世界及び日本農業遺産認定地域が構成員となり、互いの独自性を尊重し、取組み事例や課題等を共有している。

くまもと農業フェアへの出展(2014年度～)

JA熊本中央会が中心となって実施する「くまもと農業フェア」にブースを出展。阿蘇地域を含め、県内の農畜産物・加工品を取り扱う事業者が集結するイベント。



九州3県事務局担当者意見交換会、九州3県合同フェア(2019年度～)

九州農政局が主催者となり、九州3県(熊本県、大分県、宮崎県)の世界及び日本農業遺産認定地域の事務局が、各地域の取組みについて意見交換を行っている。

年に1度、九州での認知度向上や農畜産物の販路拡大促進を目的に、各認定地域が一堂に会してブースを出展するイベントを持ち回りで開催している。



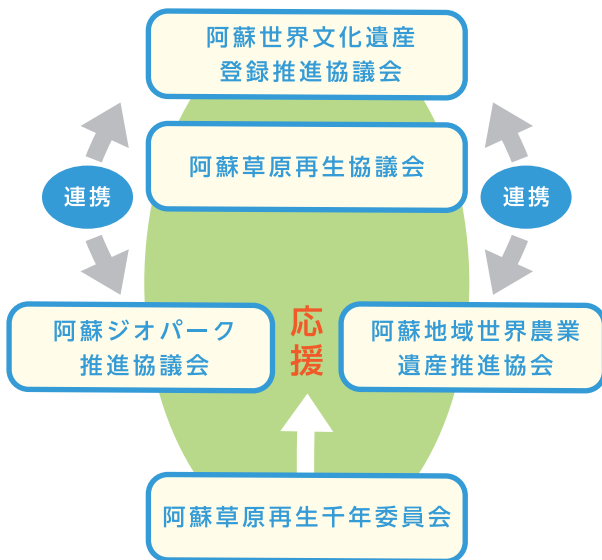
東アジア農業遺産学会(ERAHS)

中国、韓国、日本を中心に、世界農業遺産の取組みの発展及び東アジアの農業システムの持続可能性に貢献するために設立された。

世界農業遺産に関する研究交流を目的に、年次総会を通じた研究発表や先進事例共有等に取り組んでいる。

阿蘇草原関係団体連絡会議(2014年度～)

阿蘇草原等に関わる活動を行う「阿蘇草原再生協議会」「阿蘇草原再生千年委員会」「阿蘇ジオパーク推進協議会」「阿蘇世界文化遺産登録推進協議会」「阿蘇地域世界農業遺産推進協会」の5団体により構成された会議。草原、農業、牧野組合の維持等に関する情報共有及び意見交換を行い、当該活動の連携を図ることをもって、阿蘇草原の保全・再生・維持管理に寄与することを目的とする。



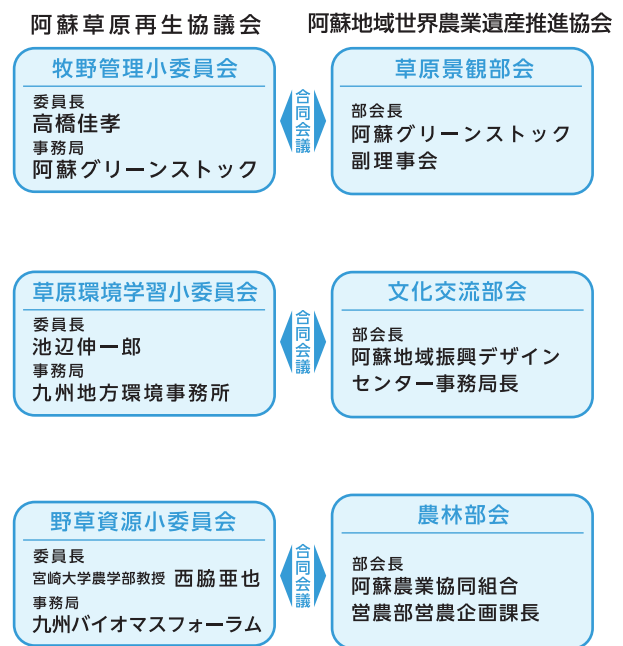
子ども地域学習発表会(2019年度～)

上記連絡会議の連携事業として、2019年度から実施されている取組み。これまで、阿蘇地域の学校を中心に行われてきた草原学習に係る成果発表の場を設けることで、更なる学習効果向上を図るとともに阿蘇の魅力の再発見を促し、郷土への誇りと愛着を持ってもらうことを目的とする。



阿蘇草原再生協議会との合同会議(2015年度～)

阿蘇地域世界農業遺産と最も関連の深い「阿蘇草原再生協議会」と連携することにより、それぞれが抱える課題についてさらに踏み込んだ議論を行い、各活動の促進を図っていくため、同じテーマの小委員会(阿蘇草原再生協議会)と部会(阿蘇地域世界農業遺産)による合同会議を実施している。



ASO草原フェスティバルへの出展(2017年度～)

例年、公益財団法人阿蘇グリーンストックが事務局を務める「草原フェスティバル実行委員会」の一員として、「ASO草原フェスティバル」にブースを出展している。

これまでに、草原保全に取り組む団体によるPRのほか、マルシェや子ども向けのクラフト体験が実施されてきた。

